

文学の極北に煌く作品群——究極の言葉が、いま読み解かれる

編集
松室三郎
菅野昭正
清水 徹
阿部良雄
渡辺守章

マラルメ全集

全5巻★完結

筑摩書房



A5判・上製クロス装(別冊の註解は略フランス装)・貼函入・口絵二丁

この全集の特色

- フランス象徴主義を代表する詩人にして理論家、文学の根源へ透徹した眼を注ぎ、二十世紀文学の行方に決定的な衝撃を与えた文人の、詩・批評・書簡を初めて集大成。
- テキストは、初版本から草稿に至るまで可能な限りあらゆる資料を参照し、最新の研究をふまえた独自の構成による編集の実現を企図した。必要に応じてヴァリエントを付し、その生成・発展が動的に捉えられるようにした。
- 難解とされるマラルメの世界に、より近づきやすくするために、著作巻(I～III)は解題・註解を別冊(優に研究書一冊分を超える)とし、立体的な読書への可能性を考慮した。
- 書簡については、多角的な視点から検討し、読者に最良のものを選択・提供する。
- マラルメ研究者を中心とする仏文学者に英文学者を加えた、世界的水準のスタッフによる共同作業で、多面体マラルメの全容に迫る。

*ご注文・お問合せは筑摩書房サービスセンターへ
Tel 048-651-0053 Fax 048-666-4648

マラルメ全集 ● 全5巻 *書店にお持ち下さい *表示の価格は税込定価

I 978-4-480-79001-2 19,950円 _____冊

II 978-4-480-79002-6 19,950円 _____冊

III 4-480-79003-9 19,950円 _____冊

IV 978-4-480-79004-0 17,850円 _____冊

V 4-480-79005-5 18,900円 _____冊

全5巻セット 978-4-480-79000-2 96,600円 _____セット

●お名前 _____

●申込書店 _____

●ご住所 _____

●お電話番号 _____

I 詩・イジチュール

純粹無垢の輝き、極限に紡がれたホエジー
ステファヌ・マラルメ詩集

松室三郎／菅野昭正／渡辺守章／安藤元雄／清水徹訳
挨拶／不遇の魔／あらわれ／あだな願ひ／懲らされ道化／窓／
花々／陽春／苦惱／この苦い休止状態に倦じて……／鐘つき男
／夏の悲しみ／青空／海の微風／ためいき／施しもの／詩の贈り
もの／エロディアド／半獣神の午後／「欲望の極み 西の果てで
その全てが解かれ……」／聖女／葬の乾杯／純誦／扇 マラルメ夫人
の／別の扇 マラルメ嬢の／記念帖の二葉／ベルギーの詩友たちの追想
／下世話の唄 Ⅰ 草直し Ⅱ 匂い草を売る女／短信／小曲Ⅰ／小曲Ⅱ
ソネ篇

「闇が 宿命の法則により……」／「けがれなく、生気にみちて、美
しい今日……」／「打ち勝つて逃れた 美しい自死……」／「その純
らかな爪が 高々と 縞瑪瑙をかかげて……」／エドガー・ポーの
墓 シャルル・ボードレルの墓 墓ウエルレーヌの／頌(リヒヤ
ルト・ワーグナー)／頌(ビュヴィド・シヴァアンヌ)／「ひたむきに

II デイヴァガシオン他

マラルメの文学・演劇原論のエッセンス
デイヴァガシオン

逸話、或いは詩篇 松室三郎 訳
未来の現象／秋の歎き／冬のおのき／類推の魔／哀れな蒼白い
少年／パイプ／見世物中断／微かな記憶／小屋掛芝居長舌／白
い睡蓮／聖職者／栄光／葛藤
鍾愛の書 阿部良雄／高橋康也 訳
かつて、一冊のボードレルの余白に／『ヴァテック』要約のための
断章

小さな円形肖像と全体像いくつか
菅野昭正／渋沢孝輔／高橋康也／松室三郎／阿部良雄 訳
ヴィリエド・リラダン／ヴェルレーヌ／アルチュール・ランボー／ロ
ーラン・タイヤード／バックフォード／テニソン——対岸より見たる
／テオドール・ド・バンヴィル／エドガー・ポー／ホイズラー／エド
ウアル・マネ／ベルト・モリソ
リヒャルト・ワーグナー——フランス人の夢想 渡辺守章 訳
芝居鉛筆書き 渡辺守章 訳
芝居鉛筆書き／ハムレット／バレエ／もう一つの舞踏論——バレエ
における背景／「唯一人、滑らかに、魔術師の如く……」／黙劇／風
俗劇 あるいは近代作家たち／挿入句／舞台と紙葉／祝祭
詩の危機 松室三郎 訳
書物はといえは 松室三郎 訳
文芸の中にある神秘 松室三郎 訳
聖務・典札 渡辺守章 訳
聖なる楽しみ／カトリシズム／同題
重大雑報 豊崎光一／清水徹 訳
書誌 松室三郎 訳

文学的交響曲／『ヴァテック』序文／ヴィリエド・リラダン／「ポー
詩集」評釈／「モモーパッサン追悼」／デイヴァガシオンその二——
祭式／「マクベス」における魔女たちの贖の登場／ルネ・ギル著「語
論」のための緒言／音楽と文芸
阿部良雄／高橋康也／菅野昭正／松室三郎／宮原信／渡辺守章／
清水徹 訳

船を進める唯一筋の念願に……」／「この夕べ、誇らしい自負心す
べては……」／II「ギヤマンの 尻のゆたかな円味から ひと跳びに
はね上がって……」／III「空掛のレースは いつしか消えて……」／
「時の香りを漂わす どんな絹地も……」／「君の物語に踏み込むに
は……」／「密雲の低く圧しかさざるあたりに……」／「パフォスの名
の上に わが古書は閉じられ……」／書誌
拾遺詩篇

「悪霊に突き動かされた黒人女が……」／「眼覚めにその跡は……」
／「夫人よ、溢れすぎる熱情なくて然も思いに燃え……」／「言の葉
なき唇も……」／下世話の唄 I-VI／小曲(戦士)／「魂のすべ
てを凝縮させて……」／ソネット／「ああ遠くで斯くも慕わしく
……」／扇 メリー・ローランの

『エロディアド』をめぐる試み 菅野昭正 訳
イジチュール 渡辺守章 訳
アナトールの墓 竹内信夫 訳
概念との結婚 竹内信夫 訳
賽の一振り 清水徹 訳

III 言語・書物・最新流行

〈詩の絶対〉の探究を支えた社羅な詩的思考の営み
最新流行 清水徹／渡辺守章／与謝野文子 訳
言語に関するノート 竹内信夫 訳
英単語／英作文 高橋康也 訳
古代の神々 竹内信夫 訳
インド説話集 兼子正勝／川瀬武夫 訳
イギリス童謡選集 高橋康也 訳
自叙伝 松室三郎 訳
散文さまざま

阿部良雄／井原鉄雄／川瀬武夫／渡辺守章／宮原信／渋沢孝輔
清水徹／立仙順朗 訳
時評 美術／文芸
序文／乾杯／アンケートへの回答
折りふしの詩句 安藤元雄／菅野昭正／与謝野文子 訳
少年・青年時代の詩と散文 田中淳一／竹内信夫 訳
青年期の散文 阿部良雄／兼子正勝 訳
〈書物〉について 清水徹 編訳

IV・V 書簡 I・II

マラルメの遺した膨大な書簡は、詩人の文学的・思想的な営みの
現場のありさまを如実に物語る稀有な精神のドキュメントである。
その至るところに、作品の基盤となるイデーやテーマへの言及が見出
される。

あて先の顔ぶれは多彩で、文学関係の友人には相手に応じて文体
を変化させ、驚くべき多様性を示す。他方で、家族への思いやりや友
人への無私の献身に窺える優渥の情あふれる人間マラルメの素顔を
垣間見ることが出来る。三千通ほどの書簡の中から重要なものをほ
んど網羅し、編年体で編集。

松室三郎／菅野昭正／清水徹／阿部良雄／渡辺守章／井原鉄雄／
柏倉康夫／立仙順朗／竹内信夫／西川直子／川瀬武夫／兼子正勝 訳